

令和4年度 学校評価アンケート「尼工生が何をできるようになるか。」アンケート結果

第1回（7月）		第2回（2月）		評価			
【知】1 読む：教科書と副読本を読み比べ（比べ読み）ができる。						令和3年2月：80%	
○できる	36.6%	80.6%	81.4%	○できる	42.5%	 NEXT 	令和3年7月の67%からは伸びているが、前期と比べほぼ横ばい状態である。今後も継続して身につけて欲しい力である。
○ほぼできる	44.0%			○ほぼできる	38.9%		
×あまりできない	15.6%	19.4%	18.6%	×あまりできない	12.7%		
×できない	3.8%			×できない	5.9%		
【知】2 書く：体験したことの感想を200字以上で表現できる。						令和3年2月：76%	
○できる	38.9%	77.0%	84.4%	○できる	49.1%	 GOOD 	令和3年7月から比べ右肩上がりの成果をあげているが、課題の論文や作文、就職活動の履歴書の文章作成に必要な力であるため、「できる」数値を上げることが今後の課題である。誤字、句読点、文章構成も改善・向上が課題である。
○ほぼできる	38.1%			○ほぼできる	35.3%		
×あまりできない	18.6%	23.0%	15.6%	×あまりできない	10.5%		
×できない	4.4%			×できない	5.1%		
【知】3 文字：課題、提出物、考査などにおいて、丁寧に正確な文字を書くことができる。						令和3年2月：74%	
○できる	31.5%	75.5%	81.3%	○できる	56.3%	 GOOD 	令和3年7月から比べ右肩上がりの成果をあげている。今回は課題・提出物・考査など具体的な観点を取り入れているが、実状は数値とは異なっているように感じられる。今後も授業等を通じて各教科・HR担任等において継続した指導が必要である。
○ほぼできる	44.0%			○ほぼできる	25.0%		
×あまりできない	20.5%	24.5%	18.7%	×あまりできない	16.0%		
×できない	4.0%			×できない	2.7%		
【知】4 表現：自分の考えを他者へ正確に伝えることができる。						令和3年2月：71%	
○できる	24.7%	69.7%	78.6%	○できる	36.1%	 GOOD 	令和3年7月から比べ右肩上がりの成果をあげている。これからは各教科が「主体的・対話的で深い学び」を推進していくため、次年度の期待値は大きい。
○ほぼできる	45.0%			○ほぼできる	42.5%		
×あまりできない	26.8%	30.3%	21.4%	×あまりできない	17.5%		
×できない	3.5%			×できない	3.9%		
【知】5 パソコン：ワード、エクセル、パワーポイント等を使って作成や発表ができる。						令和3年2月：77%	
○できる	32.6%	77.0%	84.6%	○できる	51.2%	 GOOD 	令和3年7月から比べ右肩上がりの成果をあげている。各教科による「主体的・対話的で深い学び」の取り組みに加え、次年度から機械科・建築科で展開される「総合的な探究の時間」により、さらに向上できると考えられる。また、今年度からのBYODによる各教科・HRでの取り組みは大きい。
○ほぼできる	44.4%			○ほぼできる	33.4%		
×あまりできない	19.7%	23.0%	15.4%	×あまりできない	13.0%		
×できない	3.3%			×できない	2.4%		
【知】6 資格：1年間で3つ以上の資格取得を計画し、挑戦する。						令和3年2月：59%	
○できる	28.8%	59.4%	50.6%	○できる	30.7%	 BAD 	第3学年の資格取得による表彰者数は昨年度よりも増えている。今回は「計画的に」という具体性を求めたため、若干数値は下がっている。現在の定員割れの対策として「計画的なキャリアサポート」を全面的に推進し、アピールしていくことが本校の現状を踏まえた課題である。
○ほぼできる	30.6%			○ほぼできる	19.9%		
×あまりできない	32.6%	40.6%	49.4%	×あまりできない	29.2%		
×できない	8.0%			×できない	20.2%		
【知】7 判断：スマホに依存しない。（1時間減 グレースケール 調べ学習に活用）						令和3年2月：44%	
○できる	15.7%	48.3%	50.9%	○できる	23.8%	 NEXT 	令和3年度から、僅かに向上しているが、ほぼ横ばいの状態である。これは本校に限らず、現代社会の高校生の課題でもある。使用時間の削減よりも、使用目的の質の向上にフォーカスしていく必要性がある。
○ほぼできる	32.6%			○ほぼできる	27.1%		
×あまりできない	34.9%	51.7%	49.1%	×あまりできない	26.5%		
×できない	16.8%			×できない	22.6%		
【知】8 姿勢：家庭学習をする。（課題 レポート 復習）						令和3年2月：54%	
○できる	23.3%	60.1%	61.4%	○できる	31.9%	 NEXT 	令和3年度に比べ、今年度は僅かに向上しているが、確かな学力の向上を目指すため、今後も継続していく課題である。生徒の学習への意欲・関心も高くなってきており、家庭学習の必要性を訴える良い機会ではないかと考えられる。
○ほぼできる	36.8%			○ほぼできる	29.5%		
×あまりできない	30.0%	39.9%	38.6%	×あまりできない	25.9%		
×できない	9.9%			×できない	12.7%		

知

【徳】9 人間関係づくり：挨拶や、正しく丁寧な言葉遣い、目づ、生徒同士で確認できる。					令和3年2月：95%		
○できる	52.8%	92.8%	87.3%	○できる	50.6%	🙄 BAD	令和3年度に比べ、低下傾向にある。尼工の強みの1つであるため、高い数値であるからといって決して安心はできない。特に粗暴・乱暴な言葉遣いも目立ってきている。就職専門学校として力を入れていく必要がある。
○ほぼできる	40.0%			○ほぼできる	36.7%		
×あまりできない	5.7%	7.2%	12.7%	×あまりできない	9.6%	👎	
×できない	1.5%			×できない	3.0%		
【徳】10 コミュニケーション：思いやりのある言動・行動ができ、感謝の表現ができる。					今年度からの課題		
○できる	38.5%	85.9%	88.8%	○できる	53.3%	😊 GOOD	社会人即戦力の人材として必要な、コミュニケーション能力の育成として重点課題とした。良い結果ではあるが、感謝や反省の気持ちの表現は今後の課題である。
○ほぼできる	47.4%			○ほぼできる	35.5%		
×あまりできない	10.8%	14.1%	11.2%	×あまりできない	8.1%	👏	
×できない	3.3%			×できない	3.0%		
【徳】11 対人関係：自分とは異なる立場の人と共生するのに必要な権意識を身につける。					今年度からの課題		
○できる	42.5%	87.9%	91.6%	○できる	46.1%	😊 GOOD	上の課題と共通している。相手のとらえかたを考えずに周囲を不愉快にしていることもある。男子生徒が多く明るく活力はあるが、歯止めが利かないところもあるため、適切な指導が必要である。数値的には悪くないが、特にSNSと関連させて継続的な指導が必要である。
○ほぼできる	45.4%			○ほぼできる	45.5%		
×あまりできない	9.6%	12.1%	8.4%	×あまりできない	5.4%	👏	
×できない	2.5%			×できない	3.0%		
【徳】12 基本的な生活習慣：自主的に5分前に行動を起こし整理し、着席・点呼ができる。					令和3年2月：86%		
○できる	29.6%	69.1%	85.3%	○できる	44.3%	😊 GOOD	まだまだ課題はあるが、令和3年度並みに概ね良好である。課題は、クラス・授業によって指示がないと整理・点呼ができない、正副委員長・各委員等がリーダーシップを発揮できない、整理された集合隊形の完成ができない等、主体性がワンランク上の課題である。
○ほぼできる	39.5%			○ほぼできる	41.0%		
×あまりできない	26.4%	30.9%	14.7%	×あまりできない	10.5%	👏	
×できない	4.5%			×できない	4.2%		
【徳】13 信用・信頼：期日までに、決められた提出物や課題の期限を守ることができる。					今年度からの課題		
○できる	41.2%	89.8%	90.7%	○できる	50.0%	😊 GOOD	高い達成率である。本校は就職専門学校であるため、期限・時間厳守については特に重点をおいている。一部の生徒については、複数教科未提出・期限遅れや、毎回未提出など問題点もあるが、概ね意欲的に取り組んでいる。
○ほぼできる	48.6%			○ほぼできる	40.7%		
×あまりできない	8.3%	10.2%	9.3%	×あまりできない	6.6%	👏	
×できない	1.9%			×できない	2.7%		
【徳】14 ビジョン・自己実現：1年の時から自身の進路・キャリアについて具体的に考える					今年度からの課題		
○できる	39.8%	83.8%	72.5%	○できる	35.2%	🙄 BAD	3年間を通じた「キャリア教育」の推進が必要である。「尼工だから就職する」のではなく、「自分が就きたい企業」「やりたい仕事」等、3年間を通じてキャリアサポートすると改善できる課題である。
○ほぼできる	44.0%			○ほぼできる	37.3%		
×あまりできない	13.9%	16.2%	27.5%	×あまりできない	22.0%	👎	
×できない	2.3%			×できない	5.4%		
【徳】15 集団活動：学校の清掃活動を丁寧に取り組み、生徒同士でチェックできる。					令和3年2月：91%		
○できる	60.3%	93.1%	89.2%	○できる	50.9%	🙄 BAD	令和3年度から横ばい状態ではあるが、自主的・主体的な清掃活動は重要であるため厳しく評価した。本校は比較的、清掃活動は真面目に取り組んでいるため、高い数値ではあるが、次年度よりゴミの分別等も徹底していくことが望まれているので、もう少し意識を高くもって欲しい。教室内のゴミやゴミ箱のゴミの処理も課題である。
○ほぼできる	32.8%			○ほぼできる	38.3%		
×あまりできない	5.3%	6.9%	10.8%	×あまりできない	7.5%	👎	
×できない	1.6%			×できない	3.3%		
【徳】16 規範意識：端正な頭髪・制服をきちんと着こなす。					令和3年2月：95%		
○できる	26.2%	55.8%	90.3%	○できる	57.2%	😊 GOOD	令和4年度から校則の改善をおこなったので、頭髪も課題に加えた。制服の着こなすという観点で見るとこの数値であるが、頭髪は規則を過大解釈する生徒が多く、自由化が進んだ。冬の防寒着も華美な生徒や、ブレザーを着用しない生徒が多いので、この自己評価は正確性に欠けるところもある。
○ほぼできる	29.6%			○ほぼできる	33.1%		
×あまりできない	26.8%	44.2%	9.7%	×あまりできない	6.6%	👏	
×できない	17.4%			×できない	3.0%		

体

【体】17 社会生活：ボランティア精神をもって校内、外の活動に参加できる。					令和3年2月：39%	
○できる	43.5%	70.3%	41.9%	○できる	23.2%	 BAD 
○ほぼできる	26.8%			○ほぼできる	18.7%	
×あまりできない	19.0%	29.7%	58.1%	×あまりできない	28.6%	
×できない	10.7%			×できない	29.5%	
【体】18 豊かなスポーツライフ：部活動も含め、週に5日、1時間程度の運動をする。					令和3年2月：59%	
○できる	37.0%	59.6%	66.3%	○できる	39.2%	 GOOD 
○ほぼできる	22.6%			○ほぼできる	27.1%	
×あまりできない	25.4%	40.4%	33.7%	×あまりできない	22.3%	
×できない	15.0%			×できない	11.4%	
【体】19 食生活：自分の食生活を管理している。※朝食摂取、無理なダイエット					令和3年2月：81%	
○できる	54.6%	80.6%	81.3%	○できる	50.0%	 NEXT 
○ほぼできる	26.0%			○ほぼできる	31.3%	
×あまりできない	12.3%	19.4%	18.7%	×あまりできない	11.1%	
×できない	7.1%			×できない	7.5%	
【体】20 休養の確保：規則正しい就寝・起床時間、また、質の高い睡眠を確保できている。					令和3年2月：71%	
○できる	31.3%	70.2%	67.4%	○できる	34.6%	 BAD 
○ほぼできる	38.9%			○ほぼできる	32.8%	
×あまりできない	21.8%	29.8%	32.6%	×あまりできない	19.0%	
×できない	8.0%			×できない	13.6%	
【体】21 救急救命：AED、心肺蘇生法について対応することができる。					令和3年2月：53%	
○できる	19.0%	49.3%	52.1%	○できる	26.8%	 NEXT 
○ほぼできる	30.3%			○ほぼできる	25.3%	
×あまりできない	33.8%	50.7%	47.9%	×あまりできない	25.0%	
×できない	16.9%			×できない	22.9%	
【体】22 安全の確保：熱中症予防について、生徒同士で水分補給・休憩・RICE処置ができる。					令和3年2月：89%	
○できる	38.1%	82.1%	66.2%	○できる	33.7%	 BAD 
○ほぼできる	44.0%			○ほぼできる	32.5%	
×あまりできない	14.6%	17.9%	33.8%	×あまりできない	20.2%	
×できない	3.3%			×できない	13.6%	
【体】23 感染症等予防：感染予防について正しい知識を持ち、実践できる。					令和3年2月：90%	
○できる	49.0%	89.4%	90.1%	○できる	50.6%	 NEXT 
○ほぼできる	40.4%			○ほぼできる	39.5%	
×あまりできない	9.1%	10.6%	9.9%	×あまりできない	5.7%	
×できない	1.5%			×できない	4.2%	
【体】24 粘り強さ：授業の50分間、集中して活動できる。					令和3年2月：81%	
○できる	29.8%	75.7%	74.6%	○できる	37.3%	 NEXT 
○ほぼできる	45.9%			○ほぼできる	37.3%	
×あまりできない	18.6%	24.3%	25.4%	×あまりできない	19.6%	
×できない	5.7%			×できない	5.8%	
【体】25 危機管理能力：作業の安全を生徒同士で確認し、精度の高い操作、態度を身に付ける。					令和3年2月：91%	
○できる	45.0%	91.1%	88.2%	○できる	53.0%	 BAD 
○ほぼできる	46.1%			○ほぼできる	35.2%	
×あまりできない	8.0%	8.9%	11.8%	×あまりできない	7.8%	
×できない	0.9%			×できない	3.9%	

令和2年度～3年度はコロナ禍による校内行事や地域活動の規模縮小・中止等により、39%は妥当な結果であった。しかし、今年度からは少しずつ変化しつつある社会情勢の中で、本校も「地域連携行事」「ふるさと意識を醸成する教育活動」などの推進が求められる。これにより成果は右肩上がりが見込まれるので、継続課題とする。

少しずつではあるがコロナ禍の影響も踏まえ、成果は現れているといえる。ただし、成長著しい高校生の運動頻度としては決して高い数値ではない。部活動の活性化、入部率の向上のため、生徒指導部を中心に学校全体で取り組んでいくべき課題である。

令和3年度からほぼ横ばいであるが、今後も引き続き継続課題とする。朝食の欠食、無理なダイエットなど、運動・休養・食事といった規則正しい生活習慣の3本柱であるため90%を上回る成果を求めたい。

令和3年度からほぼ横ばい状態であるが、今後も引き続き継続課題とする。運動・休養・食事といった規則正しい生活習慣の3本柱であるため90%を上回る成果を求めたい。特に睡眠時間・質の高い睡眠と課題7のスマホ依存、課題8の家庭学習は深く関連しているため、計画的な生活パターンの確立が課題である。

令和3年度からほぼ横ばい状態である。本校のAEDの設置場所、心肺蘇生法等については保健体育科「保健」の授業や、職員研修で情報共有はなされている。しかし、非日常的な内容であるため、関心は低い。生命に関わる課題であるが、全校生の半数しか知識・技能がない現状は、次年度の最重要課題の一つである。

令和3年度から低下傾向にある。コロナ禍の部活動においては各部活動がガイドラインを守り、規定内の練習時間・練習頻度であるため、熱中症発症率が減っていると考えられる。また、感染症の関心が高くなり、次第に意識が低下した可能性もある。しかし、地球規模で起こる環境問題の影響は今後も続くため、見直しが必要である。

令和3年度からほぼ横ばい状態である。しかし、日々がケーススタディとなっているため高い成果は保つことができている。特に、保健委員会の就職前の感染防止啓発活動は効果的であった。インフルエンザの学級閉鎖は残念な結果であるが、早期対応の結果、早期終息で留まった。

今年度はほぼ横ばい状態であるが、昨年度よりは低下している。実習や工業系の授業については真面目で意欲的であるが、座学の授業では、居眠りしている生徒もいる。

作業の安全や精度の向上を目指すため、「危機管理能力」という文言を加えた。しかし、昨年度や第1回よりも低下傾向が見られた。上の課題と関連させて、成果を上げるように努める必要がある。